

ICT国盗り物語 -ICTの歴史を考えてみる-

コンピュータ
といっても、
いろんな種
類があるん
だね。



私、この
ロゴ見た
ことある。



ICT分野の急速な進歩を表す言葉としてドッグイヤーが使われます。これは犬の成長の速度が人間の7倍から来ています(犬の1年が人間の7年にあたる)
ENIACというコンピュータが約70年前に登場しましたが、ドッグイヤーの見方だとICTは約500年(70年x7)の歴史を駆け抜けてきたことになります。
日本で500年前というと戦国時代の初めでした。これと同じようにICTのこの短い歴史の中で、いろいろな会社・製品・技術が登場し、国盗り物語のように、勢力の盛衰、買収、協力、策略、新興勢力の登場などいろいろな事が起きてきました。

Ver 1.0 2014/8/3 © Go Ota, 2014

1

作業の流れ

グループ:
・ICT年表の準備
・ICT年表を全体を見てみる。
・知らない言葉や事項があれば、グループ内で教えあう又はWebなどで調べて見る

グループ:
・次のスライドのポイントにそって年表内の事項の流れについてグループで考えてみます。

クラス:
・グループで話し合ったことをクラスで発表・討議してみます。

今回の授業では、ICTに関連した事項の歴史をみていきましょう。グループで年表の意味を考えた後、クラス全体でかんがえてみます。



2

ICT年表のチェックポイント

1. 年表中の各ラインについて

年表では関連した技術・製品・サービスなどを同一ラインにそってまとめてあります。
・各ラインはどのような技術・製品・サービスを集めたものですか

・各ラインの上と下で違いがある場合、その違いは何ですか
・各ラインの関係はどのようなものでしょうか

2. 各ラインの技術・製品の変化・盛衰

・各ラインでどのように技術・製品・サービスが変化してきていますか

・ライン間でどのように技術・製品・サービスが変化してきていますか

・マイクロソフト、インテル、任天堂、IBMなど現在も有名な会社があります。これらはどのように発展・変化してきましたか
・同じ製品を作っていて消えた会社も多くあります。どのような会社が競合してきましたか。

3. ICTの年表に載っていない情報

・各ラインで載せた方が良い重要な技術・製品・サービスはありますか

・年表に練っていない重要な技術や製品のラインはありますか

けっこう、いろいろ
な会社で長い間に
いろいろ因縁があ
るみたいね



3